



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月2日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4559 URL <https://www.zeria.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊部 充弘

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 西澤 知幸

TEL 03-3661-1039

四半期報告書提出予定日 2022年11月7日

配当支払開始予定日

2022年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	33,712	17.9	5,894	120.6	5,182	66.3	3,998	89.0
2022年3月期第2四半期	28,606	12.1	2,672	67.2	3,116	138.4	2,115	52.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 8,069百万円 (267.7%) 2022年3月期第2四半期 2,194百万円 (10.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	90.41	
2022年3月期第2四半期	46.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	134,407	61,822	45.8	1,395.01
2022年3月期	124,282	55,092	44.2	1,236.09

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 61,581百万円 2022年3月期 54,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		17.00		18.00	35.00
2023年3月期		18.00			
2023年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	10.9	7,000	10.0	7,000	17.9	5,600	41.4	126.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	53,119,190 株	2022年3月期	53,119,190 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期2Q	8,974,949 株	2022年3月期	8,709,322 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	44,229,546 株	2022年3月期2Q	45,360,392 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
(1) 販売実績	11
(2) 主要製商品売上高 連結	12
(3) 新薬パイプラインの状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は、337億12百万円（前年同四半期比17.9%増）となりました。利益につきましては、営業利益58億94百万円（前年同四半期比120.6%増）、経常利益51億82百万円（前年同四半期比66.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益39億98百万円（前年同四半期比89.0%増）となりました。営業利益と経常利益の前年同四半期比伸び率に大きな差が生じておりますが、これは前期には為替差益を計上したものの、当期はスイスフラン高の急激な進行により、多額の為替差損を計上したことによるものであります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」につきましては、海外市場において高用量製剤「アサコール1600mg」の伸長を背景に堅調に推移し、売上は増加いたしました。炎症性腸疾患（IBD）治療剤「エントコート」（国内販売名：「ゼンタコート」）につきましても、海外市場において、カナダ、北欧さらには昨年現地法人を設立したイタリアなどで伸長し、売上は拡大いたしました。また、クロストリジウム・ディフィシル感染症治療剤「ディフィクリア」につきましては、欧州の感染症診療ガイドラインで第一選択薬として推奨される中、営業リソースを積極的に投入した結果、売上を大きく拡大いたしました。なお、「アコファイド」、「フェインジェクト」につきましては、それぞれ内視鏡実施医療機関、消化器科・産婦人科領域を中心に市場構築に努めております。

これらの結果、当事業の売上高は、215億5百万円（前年同四半期比19.5%増）となりました。

②コンシューマーヘルスケア事業

「ヘパリーゼ群」につきましては、未だ新型コロナウイルス感染拡大やインバウンド需要の激減などの影響を受けてはいるものの、医薬品ヘパリーゼ群に加え、コンビニエンスストア向けヘパリーゼW群が大幅に伸長したことにより、売上が大きく増加いたしました。「コンドロイチン群」につきましては、積極的な広告宣伝投資などの効果もあり、売上は堅調に推移いたしました。一方、植物性便秘薬「ウィズワン群」は、競合品の影響などにより、売上は減少いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、121億31百万円（前年同四半期比15.2%増）となりました。

③その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は75百万円（前年同四半期比1.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,344億7百万円となり、前連結会計年度末対比101億25百万円の増加となりました。その内訳は流動資産が487億63百万円で、前連結会計年度末対比70億99百万円の増加、固定資産が856億44百万円で、前連結会計年度末対比30億25百万円の増加となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加35億89百万円、受取手形及び売掛金の増加25億12百万円、商品及び製品等の棚卸資産の増加10億80百万円であります。また、固定資産の増減は、有形固定資産の増加5億48百万円、無形固定資産の増加29億59百万円、投資その他の資産の減少4億81百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は725億85百万円となり、前連結会計年度末対比33億95百万円の増加となりました。その内訳は流動負債が479億29百万円で、前連結会計年度末対比37億36百万円の増加、固定負債が246億56百万円で、前連結会計年度末対比3億40百万円の減少となっております。流動負債の増減の主なものは、短期借入金の増加27億27百万円、未払法人税等の増加8億35百万円であります。固定負債の増減の主なものは、長期借入金の減少9億5百万円、契約解除損失引当金の増加3億19百万円、繰延税金負債の増加等固定負債のその他の増加2億64百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は618億22百万円となり、前連結会計年度末対比67億29百万円の増加となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上39億98百万円、前期末配当の実施7億99百万円、自己株式の増加5億36百万円、為替換算調整勘定の増加44億38百万円等によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.6%上昇し、45.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、期首残高対比35億89百万円増加し、151億68百万円となりました。これは、主に投資活動によるキャッシュ・フローが9億63百万円、財務活動によるキャッシュ・フローが21億19百万円のマイナスであったものの、営業活動によるキャッシュ・フローが53億32百万円のプラスであったためであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間は53億32百万円の資金の増加となりました（前年同四半期比22億20百万円増）。これは、税金等調整前四半期純利益の計上49億70百万円、減価償却費の計上24億66百万円、賞与引当金の減少5億14百万円、売上債権の増加12億89百万円、棚卸資産の増加4億9百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間は9億63百万円の資金の減少となりました（前年同四半期比7億33百万円増）。これは、有形固定資産の取得による支出9億8百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間は21億19百万円の資金の減少となりました（前年同四半期比10億37百万円減）。これは、短期借入金の増加18億73百万円、長期借入れによる収入5億円、長期借入金の返済による支出30億28百万円、自己株式の取得による支出5億38百万円、配当金の支払い7億98百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、2022年5月11日に公表いたしました通期連結業績予想から変更しておりません。詳細は2022年10月31日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,704,282	15,293,974
受取手形及び売掛金	16,206,812	18,719,715
商品及び製品	6,721,583	7,314,567
仕掛品	1,409,684	1,194,974
原材料及び貯蔵品	3,819,276	4,521,242
その他	1,855,502	1,791,257
貸倒引当金	△53,425	△72,368
流動資産合計	41,663,717	48,763,363
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,655,232	6,499,554
土地	12,354,010	12,361,492
その他（純額）	4,130,101	4,826,460
有形固定資産合計	23,139,343	23,687,508
無形固定資産		
のれん	5,830,459	5,702,690
販売権	27,539,473	29,621,682
その他	7,836,095	8,841,092
無形固定資産合計	41,206,029	44,165,464
投資その他の資産		
投資有価証券	7,005,587	6,681,999
退職給付に係る資産	10,736,005	10,591,887
その他	583,595	564,753
貸倒引当金	△51,945	△47,230
投資その他の資産合計	18,273,242	17,791,409
固定資産合計	82,618,615	85,644,382
資産合計	124,282,333	134,407,745
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,049,590	2,425,768
短期借入金	33,842,933	36,570,603
未払法人税等	458,297	1,293,577
賞与引当金	1,530,935	1,068,358
その他	6,311,307	6,570,900
流動負債合計	44,193,063	47,929,209
固定負債		
長期借入金	18,385,860	17,480,830
契約解除損失引当金	490,142	809,440
退職給付に係る負債	1,073,819	1,054,164
資産除去債務	55,827	55,929
その他	4,991,146	5,255,834
固定負債合計	24,996,794	24,656,199
負債合計	69,189,858	72,585,408

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	11,685,121	11,685,121
利益剰余金	48,860,697	52,059,900
自己株式	△17,593,074	△18,129,863
株主資本合計	49,546,143	52,208,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△193,416	△458,313
為替換算調整勘定	3,215,379	7,653,742
退職給付に係る調整累計額	2,326,536	2,177,596
その他の包括利益累計額合計	5,348,499	9,373,025
非支配株主持分	197,832	240,754
純資産合計	55,092,474	61,822,336
負債純資産合計	124,282,333	134,407,745

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	28,606,173	33,712,480
売上原価	8,462,724	9,376,722
売上総利益	20,143,448	24,335,758
販売費及び一般管理費	17,470,923	18,441,079
営業利益	2,672,525	5,894,678
営業外収益		
受取利息	6,759	26,461
受取配当金	148,091	158,136
為替差益	417,551	—
その他	36,809	45,555
営業外収益合計	609,211	230,153
営業外費用		
支払利息	148,520	181,259
為替差損	—	748,121
その他	16,479	13,205
営業外費用合計	165,000	942,586
経常利益	3,116,736	5,182,245
特別利益		
固定資産売却益	3,470	260
投資有価証券売却益	3,367	19,940
特別利益合計	6,837	20,200
特別損失		
固定資産除却損	3,995	3,350
契約解除損失引当金繰入額	—	228,300
特別損失合計	3,995	231,651
税金等調整前四半期純利益	3,119,578	4,970,794
法人税等	998,954	964,014
四半期純利益	2,120,624	4,006,779
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,632	8,199
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,115,992	3,998,580

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,120,624	4,006,779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△320,290	△264,896
為替換算調整勘定	720,862	4,476,703
退職給付に係る調整額	△326,784	△148,940
その他の包括利益合計	73,787	4,062,866
四半期包括利益	2,194,411	8,069,646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,177,573	8,023,106
非支配株主に係る四半期包括利益	16,838	46,539

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,119,578	4,970,794
減価償却費	2,321,125	2,466,358
のれん償却額	349,467	354,879
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△305,242	△514,895
契約解除損失引当金の増減額 (△は減少)	△28,302	228,300
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	110,409	109,324
受取利息及び受取配当金	△154,850	△184,597
支払利息	148,520	181,259
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,734,982	△1,289,682
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△762,273	△409,623
仕入債務の増減額 (△は減少)	143,623	193,809
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	932,126	△164,194
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△392,234	215,451
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△334,602	△354,809
その他	△12,593	△117,947
小計	3,399,768	5,684,428
利息及び配当金の受取額	154,854	184,616
利息の支払額	△140,890	△180,360
法人税等の支払額	△302,270	△356,493
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,111,463	5,332,190
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△361,126	△908,651
無形固定資産の取得による支出	△214,326	△156,032
投資有価証券の取得による支出	△1,164,456	△132,488
投資有価証券の売却による収入	37,186	215,908
その他	5,941	17,787
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,696,780	△963,476
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△7,310,442	1,873,266
長期借入れによる収入	10,009,350	500,000
長期借入金の返済による支出	△1,649,550	△3,028,710
リース債務の返済による支出	△111,162	△123,158
自己株式の取得による支出	△1,243,504	△538,398
配当金の支払額	△773,214	△798,347
非支配株主への配当金の支払額	△3,513	△3,929
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,082,036	△2,119,276
現金及び現金同等物に係る換算差額	143,687	1,340,254
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	476,334	3,589,691
現金及び現金同等物の期首残高	9,668,938	11,579,282
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	129,430	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,274,703	15,168,974

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当第2四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,997,949	10,533,349	28,531,299	74,873	28,606,173	—	28,606,173
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	48	48	284,004	284,053	△284,053	—
計	17,997,949	10,533,398	28,531,348	358,878	28,890,226	△284,053	28,606,173
セグメント利益	3,081,706	1,976,960	5,058,667	128,480	5,187,147	△2,514,621	2,672,525

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,514,621千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,505,406	12,131,357	33,636,763	75,716	33,712,480	—	33,712,480
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,694	58	2,753	219,681	222,434	△222,434	—
計	21,508,101	12,131,416	33,639,517	295,398	33,934,915	△222,434	33,712,480
セグメント利益	5,867,879	2,454,974	8,322,853	116,456	8,439,309	△2,544,631	5,894,678

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,544,631千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	21,505,406	19.5
コンシューマーヘルスケア事業	12,131,357	15.2
報告セグメント計	33,636,763	17.9
その他	75,716	1.1
合 計	33,712,480	17.9

(注) セグメント間の取引については、相殺消去しております。

(2) 主要製商品売上高 連結

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	増減(△)率(%)
1. 医療用医薬品事業	17,997,949	21,505,406	19.5
アサコール	8,506,104	9,881,146	16.2
ディフィクリア	2,279,800	3,895,442	70.9
エントコート	2,245,177	2,935,555	30.7
アコファイド	1,580,552	1,541,840	△2.4
その他	3,386,314	3,251,421	△4.0
2. コンシューマーヘルスケア事業	10,533,349	12,131,357	15.2
ヘパリーゼ群	3,237,728	4,698,724	45.1
コンドロイチン群	2,595,823	2,634,015	1.5
ウィズワン群	647,510	620,943	△4.1
その他	4,052,288	4,177,673	3.1
3. その他の事業	74,873	75,716	1.1
合 計	28,606,173	33,712,480	17.9

(3) 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

(2022年11月2日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
フェーズⅢ	Z-338/アコチアミド	ゼリア	小児機能性ディス ペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ	ZG-801/ パチロマーソルビテクスカルシウム	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合非吸収性 ポリマー	導入品
フェーズⅡ* (医師主導治験)	Z-338/アコチアミド	九州大学	食道胃接合部通過 障害	上部消化管運動改善作用	自社品

*: 日本医療研究開発機構 (AMED) の助成事業に採択

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
フェーズⅢ (欧州)	Z-338/アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品
承認 (メキシコ、 ホンジュラス)	Z-338/アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)
申請中 (チリ、コロンビア、 ペルー、エクアドル、 ドミニカ共和国、コスタ リカ、グアテマラ、 パナマ)	Z-338/アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)
申請中 (タイ、インドネシア)	Z-338/アコチアミド	Meiji Seikaファルマ	機能性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)